

60th Anniversary 東洋測量設計 100年企業へ

会社沿革

- 1964年6月30日 ● 栃木県宇都宮市一の沢町1丁目115番地 東洋測量設計有限会社 設立 (資本金80万円) 代表取締役 社長 戸部 隆一
- 1964年7月27日 ● 測量業者登録
- 1965年8月17日 ● 栃木県宇都宮市西2丁目6番9号に移転
- 1967年9月7日 ● 栃木県宇都宮市江曾島町1306番地15に移転
- 1969年9月22日 ● 東洋測量設計株式会社に組織変更
- 1976年1月21日 ● 資本金 500万円に増資
- 1976年7月10日 ● 栃木県宇都宮市江曾島1丁目2348番地1に移転
- 1980年11月1日 ● 住居表示の実施により、所在地を栃木県宇都宮市江曾島1丁目11番12号に変更
- 1984年1月14日 ● 資本金 1,200万円に増資
- 1985年2月3日 ● 補償コンサルタント登録
- 1997年8月1日 ● 建設コンサルタント登録
- 2003年10月28日 ● 代表取締役変更 戸部隆一 会長に就任 戸部康彦 社長に就任
- 2004年6月28日 ● 宇都宮商工会議所より、環境にやさしい優良企業特別表彰
- 2005年6月28日 ● 宇都宮商工会議所より、E C Oうつつのみや21認定
- 2015年2月5日 ● 宇都宮CSR推進協議会より、宇都宮まちづくり貢献企業認定
- 2015年12月24日 ● B C P策定(栃木県内、同業者初)
- 2017年6月16日 ● 宇都宮市防災協力事業所へ登録
- 2018年5月28日 ● 東洋測量設計株式会社 大田原営業所開設
- 2018年11月19日 ● 宇都宮市市税納付推進協力事業所へ登録
- 2019年9月17日 ● Japan SDGs Action Platform 取組企業に認定
- 2020年3月1日 ● 宇都宮市SDGs人づくりプラットフォーム会員登録
- 2020年5月7日 ● 栃木県宇都宮市西川田本町4丁目2番13号に移転 新社屋がZ E B・Nearl y Z E B建築物に認定
- 2020年9月16日 ● とちぎ女性活躍応援団登録
- 2020年9月17日 ● いい仕事いい家庭つぎつぎとちぎ宣言登録
- 2021年1月10日 ● とちぎSDGs推進企業登録
- 2021年4月16日 ● 健康長寿とちぎづくり推進協議会会員登録
- 2021年5月7日 ● とちぎ健康経営宣言登録
- 2021年6月22日 ● 東洋測量設計株式会社 鹿沼営業所開設
- 2023年1月1日 ● 男女生き生き企業認定
- 2023年1月31日 ● I C Tアドバイザー認定
- 2023年11月29日 ● ながら見守りサポート企業 参加
- 2024年3月18日 ● 日光杉並木オーナーに登録

社長あいさつ



おかげさまで60年

代表取締役社長 戸部康彦

弊社は昭和39年(1964年)6月に東洋測量有限会社として設立しました。先人たちの努力と多くの皆様のご支援により、令和6年(2024年)6月に設立60周年を迎えました。

弊社の設立の年に新潟沖地震があり、まだまだ受注量の少ない当初、新潟沖地震の測量業務に従事し弊社の基礎を築きました。その後の長い歴史の中、一般測量設計はもとより昭和61年茂木水害、平成10年那須集中豪雨、平成23年東日本大震災、平成27年関東・東北豪雨、令和元年東日本台風などの大きな災害に幹事会社として従事し、「地域の守り手」としての職責を果たしてきたことに全社員が誇りを持っています。

近年では測量・設計ともに二次元から三次元へと技術が発展しつつあり、弊社も「未来ある企業」となるべく、この技術を取り入れ研鑽を重ねているところです。

これから設立100年を目指し、先人たちが築き上げた理念を継承しつつ、社員一人ひとりが発注者様、地権者様のことを第一に考え、人との繋がりを大切にする企業として社会貢献に努めるとともに、終わりのないIQ(IntelligenceQuotient(知能指数))、EQ(EmotionalQuotient(心の知能指数))の発展に「いきいき、にこにこ、はきはき」と挑戦し続けてまいります。



社員インタビュー ①仕事の内容 ②担当した業務で想いがあるもの ③仕事の責任、魅力、やりがい ④入社して成長できたこと ⑤今後の目標

魅力を感じる職場に



なかばやし ともゆき
中林 寛之さん
技術部 部長補佐(設計部門)

① 技術部に所属し、主として設計部門の管理を行っています。弊社の設計業務では、道路、河川、上下水道等の社会インフラ整備に関わる設計業務を行っています。

② 私が入社して23年目となりますが、想いがある業務というと豪雨災害による護岸復旧工事に関わる業務を何度か経験しております。その中でも一番印象に残っているのは、令和元年、東日本豪雨による災害設計業務です。被害を受けた被災地の状況が今でも記憶に残っています。

③ 社会インフラに直結する仕事であり、自分の設計した道路や河川などが完成した時に、ものすごく達成感を感じます。また、利用する皆さんの役に立ることが魅力であり、やりがいを感じます。

④ 発注者や社内での打ち合わせを実施するうちに、コミュニケーション能力を身に付けることができたと感じています。人と人とのつながりの中で重要な能力を成長させることができ満足しています。もちろんコミュニケーション能力を上げるためには、自分自身のスキルアップが欠かせないと感じています。

⑤ どうしても人手不足が懸がれる業種であることから、より効率的な業務の遂行のため、3次元設計等の新技術を身に付けることが今後の目標です。少ない人材でどう仕事をこなしていくかは、新技術の活用をするとともに、若手技術者が魅力を感じる職場にしていければと思います。

部下へ経験を伝える



よしおか ゆうこ
吉岡 詠子さん
技術部 補償課 係長

① 技術部補償課に所属し、道路の拡幅や新設などの公共事業に伴って生ずる撤去・移転による損失などの補償金算定業務を担当しています。

② 想いがある業務、ということですが、私達補償業務は個々の財産権を取り扱う部門であり、現場調査時に、地権者の方が所有されている建物や工作物への思い入れ、事業に対する意見を伺うことがあります。

各々に事業賛成や反対等の想いがあることを感じています。

③ 個人の財産を扱う仕事であり、個人情報の取扱いについては、慎重な対応が求められます。

守秘義務や情報の漏洩について、常に責任をもって業務を遂行しております。緊張感のある仕事ですが、それもまた魅力であり、やりがいとなっています。

④ 入社して十数年が経ち、あらゆる物件を調査してきましたが、そのひとつひとつの経験により、知識を増やすことによって自分自身が成長しているのではないかと思います。

⑤ まずは資格を取得すること。これに尽きます。資格取得とともに、部下への教育の中で、今までの経験を伝えていければと思います。

新技術を身につける



やまくち りょうた
山口 亮太さん
技術部 測量課技師(DX担当)

① 技術部測量課に所属し、道路や河川の応用測量、最新機器であるUAV、TLS等を使用した、3次元点群測量などを行っています。

② 入社して2年目の年に行った、上粕尾の山奥の路線測量業務です。傾斜角45度近くある山の横断測量は、安全対策をしっかりと行っているとはいえない斜面で緊張感のある現場でした。

当時2年目だったということもありますが、こんな急な斜面の測量もするのかと驚愕し、強く印象に残っています。

③ 従来の測量では2次元の測量が主流でしたが、最近では3次元測量が導入され日々技術が進化しています。そのような中で自分が、3次元の測量を行うことが多く、最先端の技術を最新の機器を使用し、測量できることに魅力を感じます。また、完成した成果を見ると従来の2次元とは全く違うものができあがり、達成感とやりがいを感じます。

④ 業務をこなしていくうちに責任感が身についたと感じています。ひとつひとつの業務には工期があり、いつまでに現場作業を完了し、いつまでに図面を作成しなくてはならないか、より効率的な方法はないかを考えるようになりました。入社して間もない頃はただ言われた通りに作業するだけでしたが、自分で考え行動するようになり、作業から仕事に成長したのではと感じます。

⑤ 最新の技術が常に出てくる中で、時代の波に置いていかれないよう新技術の知識をしっかりと身につけ、効率化や生産性を考えながら業務を行なっていきたいと思います。



東洋 東洋測量設計株式会社

建設コンサルタント・補償コンサルタント

〒321-0158 栃木県宇都宮市西川田本町4-2-13

☎ 028-658-5311 FAX 028-658-7202

✉ toyosurv@ucatv.ne.jp

HP <https://www.toyosurv.tochigi.jp>

「いきいき、にこにこ、はきはき」と挑戦し続ける会社